

平成 27 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

担当課名		建設部 施設整備課	
予算科目	会計	01	一般会計
	款	07	土木費
	項	04	都市計画費
目	目	03	街路費

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち
 政策目標 1 多様な機能の発揮によって、出会いとにぎわいがあるまちに
 重点的取組 2 人をひきつけ、集まる、にぎわいをつくる

事業名	街路廿日市駅通線(駅前広場)整備事業	事業開始年度	平成 22 年度
	J R 廿日市駅周辺の都市基盤整備の推進（街路廿日市駅通線（駅前広場）整備事業）	根拠法令 条例 個別計画等	都市計画法

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	廿日市駅周辺地区の市民 駅利用者 商店街利用者 など	本市の東の玄関口として、活力と魅力のある市街地を形成するため、平成28年度を目標に当該路線（駅前広場・自由通路及び周辺施設）を整備し、駅へのアクセス性、利便性の向上を図る。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所(職員)の役割	関係団体(パートナー)	関係団体(パートナー)の役割
市	・事業実施に係る計画、設計、関係機関協議調整、地元関係者説明 ・用地取得、工事発注、現場管理、地元調整 ・施設整備完了後の施設管理	J R 西日本旅客鉄道株式会社	・自由通路等整備における受託

3 平成 27 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	○街路廿日市駅通線（駅前広場）の整備 国道2号とJ R 廿日市駅を連絡する街路廿日市駅通線（県事業）にあわせて、交通結節点の機能強化、駅利用者の利便性の向上を図るため廿日市駅南口の駅前広場を整備する。 広場面積は約3,000㎡、広場にはバス、タクシー、障がい者用停車スペース、一般送迎用スペースなどを確保する。 平成27年度は、駅前広場整備に伴う、仮駅前広場の工事及び一部の用地取得を行った。						
	○街路廿日市駅構内線（自由通路）の整備 駅の南北に分断された地区の連絡強化を図るため自由通路を整備する。 延長は約80m、幅員は6m、あわせてエレベーター2機を設置するとともに、自由通路の設置に伴い支障となるJ R 廿日市駅の駅舎を橋上化する。 平成27年度は、自由通路整備に伴う自由通路等の工事をJ Rへ委託し実施した。						
	○事業費関連						
	【歳入】						
	社会資本整備総合交付金(街路) 202,221,300 円						
	街路整備事業債(合併特例債) 162,800,000 円						
	【歳出】						
	自由通路等工事委託料 293,698,779 円						
	測量調査設計業務委託料 3,912,840 円						
	建物等補償金算定業務委託料 4,465,800 円						
駅前広場整備工事 6,110,856 円							
用地購入費 64,735,875 円							
家屋等補償費 4,946,600 円							
事務費(消耗品費) 911,104 円							
コスト情報（円）	項目		平成 26 年度決算	平成 27 年度決算①	①のうちH26から繰越	H27からH28へ繰越	
	財源内訳	直接事業費 A	152,372,317	378,781,854	72,075,599	847,403,000	
		国庫支出金	61,878,700	202,221,300	51,296,300	425,213,000	
		県支出金					
		借入金(市債)	82,600,000	162,800,000	19,700,000	401,000,000	
		その他(使用料など)	6,000,000				
		市(市税など)	1,893,617	13,760,554	1,079,299	21,190,000	
		人件費(按分) B	1.00 人 8,574,000	1.00 人 8,458,000			
		総事業費(A+B)	160,946,317	387,239,854			
	ト換算	①	人口(4月1日現在)	117,182 人	117,128 人		
②		市民1人当たり	1,373	3,306			
到達目標	活動及び成果指標		単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	備考
	活動	用地取得の進捗率	%	32	100	62	取得取得面積累計/全体用地面積
	成果	アクセス性・利便性の向上	%	平成28年度供用開始			